

むつ小川原だより



第 15 回エネルギーに関する講演会報告

新むつ小川原株式会社では、経団連との共催による第 15 回エネルギーに関する講演会を 9 月 1 日に開催しました。

今回は、電気事業連合会副会長の安藤康志様を講師にお招きし、エネルギー情勢を取り巻く状況と原子力の歴史・課題について、多岐にわたるお話を賜りました。講演要旨を当社 HP に掲載いたしましたので、ぜひ併せてご覧ください。

https://www.shinmutsu.co.jp/activity/pdf/20260918_lecturePDF.pdf



経団連会長ご一行がむつ小川原開発地区を視察

9 月 17 日、経団連の筒井義信会長、泉澤清次副会長・むつ小川原開発推進委員長をはじめ 6 名の副会長などが、むつ小川原開発地区を訪問されました。総合的なエネルギー拠点として発展を続ける同地区の最新の取り組みについて、視察いただきました。

■ 青森県・宮下知事への表敬訪問

視察に先立ち、青森県庁で宮下宗一郎知事を表敬訪問しました。筒井会長からは、長年にわたり国のエネルギー政策に貢献してきた青森県への敬意と感謝が伝えられました。また、宮下知事からは、同地区におけるフュージョンエネルギー（核融合）の研究開発拠点形成に向けた協力要請があり、経団連としても後押ししていく姿勢が示されました。

■ エネルギー関連施設の視察

同地区内にある日本原燃の原子燃料サイクル施設と、QST 六ヶ所フュージョンエネルギー研究所を視察しました。日本原燃では、ウラン濃縮工場や、竣工に向けて最終段階を迎えている再処理工場などを訪れ、増田尚宏社長より各施設の概要や安全対策、現場での取り組みについて説明を受けました。

また、六ヶ所フュージョンエネルギー研究所では、小安重夫理事長および東島智所長から研究活動やトリチウム試験施設の新設などについて説明を受け、スーパーコンピューターをはじめとする最先端の研究設備を視察されました。

視察を通じて筒井会長は、むつ小川原開発地区が総合的なエネルギー拠点であり、企業や産業界によるさらなる利活用が期待できるとの認識を示されました。また、経団連としても、産業界全体に向けて同地区の重要性を発信していきたいとのことです。

視察の詳細は、経団連タイムズの記事でも紹介されています。ぜひ併せてご覧ください。

https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2026/1008_03.html



原子燃料サイクル施設の放水訓練を視察（提供 日本原燃様）



青森県宮下知事（左）と経団連筒井会長（右）



六ヶ所フュージョンエネルギー研究所様を視察